

第 6 回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(最優秀賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	特定非営利活動法人ホームひなたぼっこ	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	宮城県岩沼市桑原二丁目 1-6
	電話	0223-24-0674
	E-mail	home_hinatabocco@tenor.ocn.ne.jp
	ホームページURL	http://www.home-hinatabocco.com/corporation.html
キーワード	年齢, 性別, ハンディの有無に関わらず, 互いに寄り添い, 人と人との自然な関わりを大切に。心身ともに健康で自分らしくいきいきと暮らす。	
取組・事業の名称	世代を超えた支え合い・心のふれあい交流サロン ～ホームひなたぼっこの取組～	
活動範囲	下記より一つ選んで、 <input type="checkbox"/> を●印をご記入ください。 <input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位	

取組・事業の概要

取組・事業の背景・経緯

昭和 53 年に「乳幼児は特に、膝元から手が届くような環境で育てたい」との思いから、自宅を開放し託児活動を始めた。その後、地域の高齢者とのかかわりがふえていき、平成 11 年 12 月、ホームひなたぼっこを開設。住み慣れた地域で赤ちゃんからお年寄りまで、世代、性別、障害のあるなしにかかわらず、誰もが互いに支え合い、心がふれあうコミュニティをめざし活動がひろがっていった。

保育、介護、障害児支援活動とともに、高齢者の自立した生活を支援するため、誰もが気軽に集える地域サロンを立ち上げた。

取組・事業の概要と特徴

ホームひなたぼっこは、多世代大家族である。乳幼児と 20 代から 70 代の職員, 70 代から 100 歳の利用者。10 代の学生がボランティアに入ると各世代が揃い、大家族のようになる。

「赤ちゃんからお年寄りまで一つ屋根の下、みんな一緒に大家族のように」。ひなたぼっこの活動理念である。また、ひなたぼっこでは、さまざまなサロン活動を展開し大家族の輪を広げている。

1 ひなたくらぶ(平成 15 年～)

「行きたいところがある、したいところがある、会いたい人がいる」をモットーに毎週1回活動。気心の知れた仲間同士で集まり、創作や健康セミナー、カラオケなどいろいろな企画のもとに活動している。「今日もほんとに楽しかった」「また来るね」と参加者は次回を楽しみにしている。

2 介護仲間のおしゃべりサロンあまやどり(平成 22 年～)

家族介護に関わる者同士、情報交換や悩み相談ができる場。月1回集まり、互いの労をねぎらいながら、なかなか話しにくい介護の話題でも心おきなく相談でき、智恵をだしあえる。しだいに気持ちもほぐれ、癒やしのひとときとなる。

3、みんなのおしゃべりサロンお茶っこ(平成 23 年～)

東日本大震災後、仮設住宅入居者を対象に活動開始。被災された方々がほっとできる、気持ち和らぐ場になるよう願った。みんなと一緒に趣味やおしゃべりを楽しみ、回数を重ねるごとに参加者同士、互いに顔なじみになり笑顔が増えていった。

4、生き生きサロン(平成 27 年～)

気軽に参加できるサロンを、もっと地域に広げようと開始した。おしゃべりサロンお茶っこの仲間と合流し、創作や健康体操など好きな活動を楽しみながら、仲間の輪を広げた。

5 おばんですサロン(平成 28 年～)

主に一人暮らしの男性対象サロン。地域にサロンが増えていく中、参加者には女性が多く、なじめない男性が少なくない。活動時間帯を夕方に設定し、仲間と団らんを楽しむスタイルを提案した。月1回の夕食会を楽しみにする仲間が増えつつある。

取組・事業の成果

●参加者の中には、家族や親しい方を亡くされ、喪失感や寂しさが癒えなかった方々もいる。そういった方がサロンに来ることで、少しずつ笑顔がふえ、仲間同士でおしゃべりを楽しめるようになった。サロンの「仲間」として和やかな雰囲気の中、おしゃべりや笑顔がたえないひとときをすごせ、「楽しかった、来てよかった」「また来るよ」と喜ばれている。

●参加者の奥さんの勧めで、ご主人も一緒に参加するようになった方、自分たちの町内会で新たにサロン活動を立ち上げる方も出るようになった。「自分たちでもできる」「やれるんじゃないか」と意欲をひきだすきっかけになった。

●地域に集いの場が増えたことで、複数のサロンにも参加される方もでてきた。サロン同士の情報交換も積極的になってきている。

●サロン活動をとおして参加者と事業所がなじみになり、参加者にとってはサロンの場が、悩みごと、相談の窓口、気軽に話ができる場所として安心感につながり、事業所側は利用者の状況をよく把握できるようになる。何かあれば包括支援センターや専門機関へつなげる体制ができた。

●サロンが増えたことにより、平成 29 年 10 月サロン合同バス遠足を企画した。サロン同士、顔なじみになり、また一つ交流の輪を広げることができた。大勢でともに旅を楽しみ、一日を過ごした

思い出が、「また行こう」「みんなに会いたい」「話したい」とこれからの楽しみにつながっていくように感じる。

● サロン活動を地域へ広げたところみ

① 河北108ボランティアパワーアップ企画に応募し実施したバス遠足。

地域の高齢者から親子連れまで幅広くよびかけ、松島水族館へバス遠足を企画実施した。多世代で構成した少人数グループで行動し、一日家族のように楽しみ過ごした。

② 秋のバザー企画

ひなたぼっこ主催のバザー企画。催しの一つにファミリーアート展を開催。サロン参加者、地域住民に幅広く呼びかけ、年齢問わず大勢の方が出展した。公の場に作品発表することで、趣味に対する意欲、自信が高まり、仲間の活動をみることでよい刺激にもなった。

● これから・・・

サロンの枠にとらわれることなく、誰でも気軽に参加できる企画。外にでて、いろいろな人と出会い、活動を楽しめる場、機会を多くつくること。誰もが生き生きと暮らせる地域づくりをめざしている。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード（介護予防・高齢者生活支援分野）

（企業部門 優秀賞）受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	株式会社ミズ		
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	〒840-0054 佐賀県佐賀市水ヶ江1丁目1番11号	
	電話	0952-22-7974	
	E-mail	iribe@miz-pharmacy.co.jp	
	ホームページURL	http://www.miz-pharmacy.co.jp/	
キーワード	①地域と薬局が協力することで、介護予防・高齢者支援へ貢献する ②行政と企業が連携を図り、新しい形の公共事業を構築する		
取組・事業の名称	高齢者向け複合施設「そいよかね」を中心とした介護予防・高齢者支援の取り組み及び行政連携事業		
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位 具体的な範囲：佐賀県佐賀市北川副町		

取組・事業の概要

取組・事業の背景・経緯

薬局・薬剤師の地域包括ケアシステムへの積極参加を推進

住みなれた地域で暮らし続ける為の地域包括ケアシステムにおいて、薬局・薬剤師単独で協力できる部分はまだまだ限定的であると思います。そこで、株式会社ミズ（以下、ミズ）は地域住民や行政と薬局・薬剤師が連携する中で地域のニーズを知り、それらに対応していくことで、より積極的に地域包括ケアシステムへ参加していくことを目指しています。

平成24年7月に佐賀県と「健康増進！佐賀県とミズとの連携と協力に関する協定」を締結。高齢者の皆様の健康増進を目的として、これまで地域高齢者サロンへ薬剤師を派遣した健康講座の開催や、認知症への理解を深めて頂く為の認知症サポーター養成講座など様々な活動を県内にて実施してきました。また、平成26年6月に佐賀県佐賀市木原に高齢者向け複合施設「そいよかね」（以下、「そいよかね」）を開設。「そいよかね」とは佐賀弁でそれいいねという意味。施設の構成は高齢者介護施設、クリニックモール、薬局・コンビニエンスストア、菓子店）これを機に、これまで佐賀県との連携の中で培ってきたノウハウを活かし、当該施設をモデルケースに地域住民、

行政と連携した取組を推進しています。当該施設も開業から3年が経過し、様々な取組を実施してきましたが、現在も薬局・薬剤師が地域包括ケアシステムの中でどの様にお役立ちできるのか模索しています。

取組・事業の概要と特徴

対話を通じて地域課題を抽出し、地域と協力して課題解決へ

ミズは組織内に地域・行政との連携の担当部署を設け、①地域と薬局を繋ぎ、新しい価値を創出すること、②行政との連携を図り、新しい公共事業を構築することの2点を事業目的とし取り組んでいます。

「そいよかね」を活用した取組について、地域のニーズを知るために、そして、地域にミズの取組を知ってもらうために、毎月地域の自治会長会や民生児童委員などの団体代表者との意見交換の場を設けています。その中で、地域の取組や課題と感じられていることをヒアリングし、取組に繋げています。現在、地域の高齢者を取り巻く課題として見えてきたものは、軽度認知症の方の引きこもりと見守り、高齢者の社会参加の促進です。そこで、ミズでは施設の一部を地域住民の方へ開放し、歌声喫茶やサークル活動、高齢者サロン開催会場として貸し出すなど「そいよかね」が「集いの場」となる取組をおこなっています。また民生児童委員さん向けの講座（高齢者宅へ訪問した際に気にかけることなど）を毎月開催するなど薬剤師の職能を活かした取組も実施しています。行政との連携では、施設を活用した健診イベント「コンビニ健診」の開催を平成27年度より実施しており、平成29年10月現在累計10回の開催、地域の方を中心に延べ人数で1000名を越える方に健診を受診いただいています。そして、昨年度からは薬局でがん検診受診勧奨の講座を9月のがん征圧月間にあわせて開催。講座受講後にごがん検診を受診された方から1名早期がんが発見されました。今後は地域と行政との三者連携を強化していきたいと考えており、認知症カフェの開催や介護予防事業と自主的な介護予防の取組の融合などの実施を検討しています。

取組・事業の成果

社会参加が生きがいを生む

老人介護施設を利用した歌声喫茶は開催当初は10名程度の参加者から毎月約50名（内地域住民20名）が参加するイベントに成長。施設を利用したサークル活動は現在4団体が利用されており、その活動内容はパソコン教室、健康麻雀教室、健康体操教室と多岐にわたっています。なお、サークル活動及び高齢者サロンの参加者は10名程度から最大30名程度となっています。こうした「集いの場」へ参加されている高齢者の皆様の変化を見ていますと、そこに新しいコミュニティが形成され、別の地域活動やボランティアへ参加されるようになるなど、社会参加の促進に繋がっていることがうかがえます。また歌声喫茶に参加されている方からは「生きがいです」と嬉しいお言葉を頂戴することもありました。やはり、人とふれあい、交流することが活力を生み、健康寿命の延伸へ繋がるのではないかと実感しています。

また、薬局・薬剤師の取組では健康講座やイベント等を開催することで、地域住民と接点を増やし、気軽に健康相談をして頂ける関係づくりを目指しています。これまで講座を受講した方などから、健康相談の電話をいただくことや薬剤師やスタッフの紹介で健診、がん検診受診の行動変容に繋がることも増えており、これまで脳梗塞症状の早期対応や早期がんの発見に結びつくなど、健康サポート薬局としての機能の強化にも繋がっています。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(団体部門 優秀賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	社会福祉法人 磐田市社会福祉協議会	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	〒438-0077 静岡県磐田市国府台57番地7
	電話	(0538)37-9617
	E-mail	tiiki@iwatashakyo.or.jp
	ホームページURL	http://www.iwatashakyo.or.jp
キーワード	磐田市型の我が事・丸ごと！住民参加の生活支援活動から見えて来た課題を専門職も交えて解決する活動に発展！	
取組・事業の名称	磐田市型の我が事・丸ごと！住民参加型生活支援事業【せいかつ応援倶楽部】の取組	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位 具体的な範囲：磐田市全域	

取組・事業の概要

取組・事業の背景・経緯

表題：“ちょっとした困りごと”を抱える住民と社会参加したいという思いの住民とをマッチング！

■背景

市社会福祉協議会として、住民と共に地域福祉推進事業に取り組んでいる中で、聴こえてくる声と声をマッチングさせた地域の支え合い事業。住民のちょっとした困りごとを支援することで、在宅生活を継続する仕組みと時間を有効に使いたい、社会参加したいという思いの住民の活躍の場の創設をとおして、みんなにやさしいまち、磐田市を目指して事業検討をスタート。

■経緯

平成20年から事業検討に入り、住民参加型で生活支援事業に取り組んでいる先進地(県外2市社協)を視察。ノウハウを学び、磐田市型の仕組みを構築。事業実施にあたり、地区社協や民生委員児童委員協議会、シルバー人材センター等、関係団体からの意見を伺いながら、事業にご協力いただける地域支援員(支えてくれる住民)の募集と地域住民に対しての事業説明を並行して行い、平成22年5月から事業開始。

取組・事業の概要と特徴

表題:市社協事業としての展開を住民主体の運営に移行！両輪で地域福祉力向上！

■事業概要

在宅福祉の充実と地域コミュニティの進展を図るために、地域住民が主体となって実施する住民参加型の生活支援事業。地域支援員として事前登録いただいた地域住民が、介護保険制度や障害者総合支援法などによる公的サービスでは対応できない“ちょっとした困りごと”生活課題(掃除、動物の世話、草取り、ごみ出し・分別、買い物代行、整理整頓、話し相手、病院等付き添い 等)の解決を支援する、地域の助け合い・支え合い事業。

■特徴

①市社協事業としての展開

市社協事業としての仕組み(コーディネート方法、初回訪問・同行、チケット制《1時間500円》、保険加入、地域支援員説明会・連絡会・スキルアップ講座・包括・ケアマネへの事業周知と連携 等)を構築した。

②『地域福祉力向上プログラム』による、地域住民組織(地区社協)事業への移行

磐田市社協の『地域福祉力向上プログラム』(H23.11 策定・H25・29 改訂)は、市内に設立された20地区社協を基盤に、地域住民で支援を求めている者に気づき、地域ニーズに即した事業や住民同士の助け合い事業等、地域における支え合い活動の裾野を広げることを目的に策定。具体的な事業メニュー(地域せいかつ応援倶楽部 等)を提示し、更なる“地域福祉力向上”を目指すプログラム。現在、6地区社協が事業実施主体となり、「地域せいかつ応援倶楽部事業」を運営している。

取組・事業の成果

表題:磐田市型の“我が事・丸ごと”につながる活動に発展！！

事業スタートしてから、随時、課題分析と見直し・改善を図り、協力者(315人)を増やしながら、より利用しやすい生活支援事業になるよう地区社協と共に努めてきた結果、支援件数は、年間4,253件。7年間で、延べ19,639件(H28年度末実績)に上っている。

また、住民参加型生活支援事業に賛同する6地区社協が主体的に事業展開したことにより、住民同士の支え合い活動から見えて来た地域課題をどう解決していくのか？関わった住民が、我が事と感じ、専門職(包括・ケアマネ 等)を交えて丸ごと地域の支え合い活動の限界点を上げる活動に発展。

磐田市の住民パワー！ちょっとある時間と知恵を地域に広げることで、生活支援・介護予防を充実し、誰もが生きがい・役割を持って、いきいき生活できる住民主体の地域包括ケアシステム構築に向けての活動となっている。

以上

第 6 回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(自治体部門 優秀賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	天草市	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	熊本県天草市東浜町8番1号
	電話	0969-23-1111
	E-mail	tisien@city.amakusa.lg.jp
	ホームページURL	https://www.city.amakusa.kumamoto.jp/
キーワード	リハビリ専門職との協働、住民の意欲に働きかけた啓発、認知症予防を入口とした担い手育成	
取組・事業の名称	住民主体の「通いの場」をきっかけにした「支え合うまちづくり」	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位	

取組・事業の概要

取組・事業の背景・経緯

天草市は、熊本県下で最も面積が広く、核家族化が進み、市内の中心部に人口が流動している地域である。若年層の人口減少が顕著で、高齢化率が40%を超える地域が多く、中心部以外の地域では約7年後に高齢化率が50%を超える見込み。要介護認定率も全国・県平均を上回っている。

平成18年度から二次予防事業を実施してきたが、短期集中型の教室であったため、卒業後に地域で活動を継続できる場所がなかった。そこで、平成27年度から公民館活動やサロンなど、住民主体の介護予防の場の把握を行い、課題等を抽出。高齢者が容易に通える範囲に、元気な人も虚弱な人も地域住民なら誰でも通える場を、住民主体で実施できるような方策について検討することとした。

まず、通いの場をきっかけにした介護予防効果と支え合いの醸成を目指し、リハビリ専門職等と、普及する介護予防メニューや専門職支援等について検討を行った。そこで「通いの場登録制」(下記)を確立し、住民への啓発を精力的に行いながら、登録団体を募集し

た。また、平成 28 年度からは「脳いきいきサポーター」を養成し、住民主体の認知症予防の取組普及を図った。

現在は通いの場の継続支援として、「通いの場交流会」を開催し、団体同士の情報交換を促進。住民に「先生」役を担ってもらい、新しいメニューを通いの場団体から多数紹介いただいた。住民主体だからこそその自由な発想で、活動が多様化してきている。

取組・事業の概要と特徴

平成27年11月から住民主体の「通いの場」登録団体の募集を開始。登録要件は「参加者の過半数が65歳以上」「週1回以上開催」「参加人数5人以上」「市が薦める介護予防活動(いきいき百歳体操等)を実施」としている。市の支援として、体操 DVD の配布、DVD プレイヤー・血圧計の貸与、リハビリ専門職による現地支援、新たなメニュー提供の教室開催等を実施。拡大のポイントとして、以下の3点が考えられる。

①リハビリ専門職による支援体制の充実

地域リハビリテーション広域支援センター、理学療法士協会、作業療法士会、健康運動指導士会の協力により、リハビリ専門職の現地支援(年1回)、「いきいき体操教室」における新たなメニュー提供(講話と実技指導)等が実施でき、住民の意欲が向上した。

②とことん普及啓発

市・包括・リハ職が一丸となって、住民への普及啓発を徹底的に行った。広報・ケーブルテレビ・出前講座等、あらゆる手法で啓発を実施。市の現状と将来人口推計、課題を伝え、自分にできることを考えてもらうなど、住民の意識に働きかけた。結果、通いの場に取り組んだ住民から、その効果が口コミで地域へ伝播した。

③認知症予防の担い手「脳いきいきサポーター」養成

通いの場等で認知症予防の取組を実践するサポーターを約 100 名養成。通いの場が認知症予防の場にもなり、様々なメニュー提供でマンネリ化防止につながっている。認知症サポーター養成講座も兼ねており、認知症の方も安心して通える場へと進化している。

取組・事業の成果

住民主体の通いの場は、約 2 年間で 105 箇所、約 1,500 人が参加するまでに急速に拡大している。平成 29 年 4 月の総合事業開始前から、通いの場の増加に伴って要支援 1 の認定者が減少しており、取組の成果と感じている。また、参加者の約 8%が要支援・要介護認定者であり、最近ではケアマネジャーの紹介により、認定者が通いの場につながるケースが増えてきた。通いの場ができたことで、認定者が地域から切り離されることなく、なじみの関係を保てるようになってきたといえる。

平成29年度からは通いの場リーダーに「介護支援ボランティアのポイント」を付与。対象となる65歳以上の方にリーダーを依頼する団体が増加し、役割の獲得につながった。また、通いの場で元気になった高齢者が、近所の要介護認定者の家へ傾聴ボランティアとして出向くようになり、担い手へ移行した例もある。

「参加者の声」(年1回のアンケート)からは、心身機能の改善、食事会やカラオケなど楽し

みの拡大、参加者同士の送迎支援、欠席者の安否確認など、地域の絆が強まったという声が多く挙がっている。住民の依頼により、通いの場に移動販売車が来るところもあり、移動販売車で購入した惣菜を通いの場で食べるなど、食の楽しみにもつながっている。

住民主体が功を奏し、介護予防だけでなく、参加者の役割拡大や生活支援など、多様な意味を持つ場へと発展している。通いの場をきっかけに、助け合いの土壌づくりが着実に進んでいる。

以上

第 6 回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(企業部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	余目町農業協同組合	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地 172 番地
	電話	0234-45-1500
	E-mail	kei.t@ja-amarume.or.jp
	ホームページURL	http://www.ja-amarume.or.jp/
キーワード	「抛り所しゃんしゃん」を拠点として、地域住民や高齢者の地域の関わり、生きがい作りの活動をしています。	
取組・事業の名称	JAあまるめ地域支援事業	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

「抛り所しゃんしゃん」では、月～金曜日の午前中、65 歳以上を対象に介護予防体操(健康元気アップ教室)を実施、午後からは、趣味の時間として健康マージャン、手芸等をしています。また、金曜日の午後からは、年齢制限なしの健康講話や交通安全教室等の「金曜しゃんしゃん塾」を開講しています。

宅配「農協便利便」では、「しゃんしゃん号」で65歳以上の1人暮らしの方等に食材や弁当を配達すると同時に、会話を通して健康状態を聞き取り、不安解消するなど、“生活と健康の見守り”を実施しています。

「抛り所しゃんしゃん」では、子育て支援センターとの連携により、若いお母さんや小さな子供との交流や、高校生の交流の場など、多世代交流の場としても活用しています。

また、利用者には、3ヶ月ごとに「介護予防基本チェックリスト」(チェックリスト内容:日常生活関連動作、運動器の機能、栄養状態、口腔機能、閉じこもり、認知症、うつに関すること)を実施してもらい、体力強化の効果の検証、活動の総括を行っています。運営側も、半年ごとにボランティア会議を開催し、感想、反省、総括し、改善を図っています。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(団体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	狭山台地域づくりをすすめる会	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	埼玉県狭山市狭山台1丁目21 狭山元気プラザ狭山台地区センター別室
	電話	04-2958-6701
	E-mail	qqmc4fv9k@blue.ocn.ne.jp
	ホームページURL	—
キーワード	旧小学校跡地を拠点にイベントを主催、自治会の垣根を越えた包括的な地域住民の交流の場や生きがいの創出等の「地域づくり」活動	
取組・事業の名称	めざせ！認知症を予防する街狭山台、 認知症になっても安心な街狭山台	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位 具体的な範囲:狭山台地区	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

当会が毎週行っているサロンには毎回多くの高齢者が参加している。また、イベント開催も定期的に行っており、高齢者のみならず多くの住民の参加がある。高齢者の生きがいづくりとして、PC、畑、陶芸教室(夏休みは親子陶芸教室)を行い、介護予防として、ノルディックウォーク、介護予防教室(ここからウィンドウ体操)を行っている。さらに、地域防災、子供支援、子育て応援等、地域住民全てに向けた取り組みも行っている。

また、「NPO 安心お助け隊」という生活支援事業を行っている団体との連動も円滑に行われており、4つある老人会も高齢者の生きがいに繋がっている。

見守り活動としての見守りカード作成(包括支援センター作)、あいさつ運動(着ぐるみ「だいちゃん」作成)等地域包括支援センター、自治会等協働による活動展開も行っている。

また、会と連携している狭山台地域包括支援センターの取り組みとしては、毎月行う「圏域会議」にて多くの団体との連携を行い、地域課題の抽出、解決へと積極的に取り組んでいる。さらに平成21年から狭山台中学校の格技場を借りて、高齢者の介護予防を目的とした自主活動グループの立ち上げ、活動支援の継続、認知症予防としての「脳力アップ」自主グループの立ち上げ・活動支援も行い、横断的な役割を担っている。加えて、3年前より狭山台小学校6年生対象に「キッズ認知症サポーター養成」を行い、多世代への取り組みも担っている。

連携している社会医療法人 入間川病院とは「すこやかスクール@狭山台」と題して、毎月地域住民向けの健康講座を開催している。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(団体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	鹿ノ台いきいき街づくり会	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	奈良県生駒市鹿ノ台東3丁目5-5
	電話	0743-78-6654
	E-mail	ntagw7@kcn.jp
	ホームページURL	—
キーワード	地域共生社会を目指し、「サロン・イベント交流活動」「交通弱者支援」「幼稚園児と高齢者交流活動」を行っている。	
取組・事業の名称	生駒市鹿ノ台地区のサロンと生活支援活動 —高齢地域の世代間交流と助け合い—	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位 具体的な範囲: 生駒市鹿ノ台地区	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

生駒市の鹿ノ台地区 11 自治会で構成する鹿ノ台自治連合会の一組織である「いきいき街づくり会」は、次の3つの取り組みを中心に、交流活動や支え合い、助け合いの仕組みづくりを行っている。また、徘徊者対策、電子的見守り支援を検討中である。

・「百歳サロン」＝毎週月曜日に自治連合会の集会所に集まり、DVD やインターネットを使って、前半に健康体操やシナプソロジー、後半に役に立つ情報の交換、イベントとして、昼食会や大学教授による講演会を開催している。28年度がのべ1150名以上、29年度が10月まででのべ700名以上が参加されている。

・「移動・送迎支援」＝足腰の不自由な高齢者の生活支援として、常時は、地域内における買物、医療機関、郵便局、サロン会場へはサポーターの自家用車で無料送迎を実施している。また、地域外の医療機関や商業施設へは、臨時的なイベントとして会が介護タクシー会社に利用料を支払い、送迎している。利用者は、28年度がのべ約180名、29年度が10月ま

ででのべ約 140 名。

・「園児との交流」＝幼稚園の年中園児 3 クラス約 100 人と高齢者とが幼稚園で、歌、お遊戯、おはなしで交流する。

以上

第 6 回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(団体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	西町笑天楽寿会	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	岡山県倉敷市連島町西之浦 366-1
	電話	086-445-1555
	E-mail	—
	ホームページURL	—
キーワード	男の居場所。活動の担い手は全員男性、住んでいるまちをより良くするため、町内の会館を拠点に活動。	
取組・事業の名称	定年男性の地域デビュー	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 ● 5. 自治会単位 具体的な範囲: 連島町西之浦西町	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

活動の担い手は全員男性。少子化に伴い、子ども会の行事の開催に応援が必要と知ると、年 4 回の廃品回収の手伝いを担い、夏休みには子どもたちと一緒にラジオ体操を行い、登下校時は見守り支援を行う等世代を越えた交流の場づくりを進めており、暮らしのなかに西町笑天楽寿会がいつもそばに寄り添っている。

また、「家族の後押しがあって活動できる」と、日頃お世話になっている家族への感謝の気持ちを大切に、年に2回、男の料理教室を開催。愛情いっぱいの料理を、妻や近所の高齢者の方に振舞われており、自分たちだけではなく、地域の方にとっても居心地の良い場を作り上げている。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(団体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	打馬町内会	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	鹿児島県鹿屋市打馬地区
	電話	090-9725-4887(代表携帯)
	E-mail	—
	ホームページURL	—
キーワード	住民が主体的に介護予防に取り組む機運の醸成, サロン活動, 見守り活動の充実・継続への創意工夫	
取組・事業の名称	うつまげんきな～	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 ●5. 自治会単位 具体的な範囲: 打馬地区	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

地域住民が支え合い、主体的に福祉活動に参加し、安心して住み続けられる仕組みづくりのために、サロン活動や見守り活動を展開している。サロン活動は、住民自身が得意としていくこと、できることについて講師として招くなど、役割をもってもらうことで高齢者の生きがいつくりにつながっており、対象者別に4種類のサロンを実施している。①どんぐりサロン(H17年～)は、男性のみのサロンで男の料理教室、竹細工、植物園の見学など体を動かすような活動が多いサロン。②さくらサロン(H18年～)は、小物作りやお菓子作り等を元気な高齢者が集まって活動するサロン。③公民館の日サロン(H19年～)は、身体的に不自由な方があやとりや鹿児島弁かるたなどの遊びをしながら交流ができるサロン。④オレンジろばさんサロン(H27年～)は、認知症の方とご家族の方が集まって、茶話会や年2回医師への相談ができるサロンである。町内会主催で「私の作品展」を開催し、生涯学習やサロン活動の発表の場を設けることで、活動の充実や継続につながるよう創意工夫を重ねている。

見守り活動は、独り暮らし高齢者等の孤独死や自己等を未然に防ぐため、「打馬あんしん安全見守り隊」を発足。地域住民の支え合いによる見守り、声かけ活動やちょっとした困りごとへの生活支援を行っている。「見守り推進会」を開催し、対象者の見直し、組み合わせの調整、

方向性の確認を行ったり、「連絡会」にて実際に活動した事例の振り返り、救急時の体制整備、鹿屋市社会福祉協議会や地域包括支援センターより助言や情報提供を行っている。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(自治体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	川根本町地域包括支援センター	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	〒428-0313 榛原郡川根本町上長尾 627 番地
	電話	0547-56-2234
	E-mail	koreisha-fukushi@town.kawanehon.lg.jp
	ホームページURL	http://www.town.kawanehon.shizuoka.jp/
キーワード	介護者の会や話相手ボランティアを中心に、温泉施設を活用した垣根のない居場所づくり。	
取組・事業の名称	誰もが自分らしく！ケアラズ・カフェ	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

■概要

住民(ボランティア)の協力(スタッフとしての運営への参加)を得ながら、温泉施設などで実施。健康体操、健康チェックをはじめ、ゲーム、歌、紙芝居などのレクリエーション、会食など、ボランティアが工夫したプログラムを実施。

当初、介護者のリフレッシュ、高齢者の閉じこもり予防や認知症予防等を目的に始めたが、今では、子育て中の母親や、知的に障がいのある人など、誰もが参加できる居場所となっている。参加者にも好評で「回数を増やしてほしい」という声が多く、実施回数も、現在は月1回から週1回と増えている。

■特徴

①地域の高齢者による主体的な活動

地域の高齢者による自発的・主体的な取組であり、参加による心身機能の改善、孤立防止、生活意欲の向上はもとより、高齢者が主体となり運営・活動することで社会参画、生きがいに繋がっている。

②地域資源の有効活用

町の温泉施設等、身近な会場で実施しており、近隣住民が主体的に参加・協力しており、

ふれあいの輪が広がっている。

また、町営の温泉施設の年間延べ利用者数も、前年度利用者数を約3,000人上回った。(延べ利用者数:3,590人が6,573人)

以上

第 6 回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(自治体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	津山市高齢介護課	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	岡山県津山市山北 520 番地
	電話	0868-32-2070
	E-mail	kaigo@city.tsuyama.lg.jp
	ホームページURL	—
キーワード	住民主体、運動習慣、介護予防体操、地域の支え合い体制づくりの推進、住民の自助互助による介護予防の推進	
取組・事業の名称	めざせ元気！！こけないからだ講座	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 自治会単位	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

津山市が、徒歩圏内で通うことのできる住民運営の通いの場の普及に取り組み、重りをつけた筋力アップの体操が市内の高齢者に定着して 12 年が経過している。今では、高齢者人口の1割以上が参加するようになり、地域の交わりの中で、日常的な介護予防と安否確認の相乗効果が生まれている。

地域によっては、自主的に男性を体操へ誘い出すための工夫や参加者を増やす取り組み等を実施するなど、住民が自ら考えながら取り組んでいる。

講座実施希望地区へは必ず市の職員が出向いて事業説明を行い、講座に興味を持つ高齢者だけでなく、地域の役員等の理解を得られるようはたらきかけている。お世話役として町内会長や民生委員、愛育委員等が参加している地域もあり、地域の活動として実施している。

年に 1 度、グループのリーダー(お世話役)を集め、リーダー研修会を実施し、リーダー同士の情報交換等を行うなど、リーダーへのフォローアップをしている。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(自治体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	佐賀市役所保健福祉部高齢福祉課	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	佐賀県佐賀市栄町1番1号
	電話	0952-40-7284
	E-mail	korei@city.saga.lg.jp
	ホームページURL	https://www.city.saga.lg.jp/
キーワード	佐賀市高齢者見守りネットワーク事業で広がる見守りの輪	
取組・事業の名称	佐賀市高齢者見守りネットワーク事業で広がる見守りの輪	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

「佐賀市見守りネットワーク事業」による見守りは、見守る人・見守られる人を特定せずに、事業の趣旨に賛同又は登録していただいた協力団体(公共的な活動を行っている団体等、自治会、民生委員児童委員協議会等)、協力機関(高齢者支援に関わる協力機関等、警察署、社会福祉協議会等)、協力事業者(高齢者の生活に関わる民間事業者等、医療機関、金融機関、コンビニ、個人商店等)の皆さんに、日常生活や業務の中で地域の高齢者をさりげなく見守っていただき、「気になるなあ・・・」「心配だなあ・・・」などと気づいた方を電話で地域のおたっしや本舗にご連絡をいただくものです。連絡を受けた担当のおたっしや本舗職員が訪問等を行い、高齢者の健康状態や生活状況などを把握し、必要な支援や介護保険サービス、福祉制度などの適切なサービスに繋がります。

協力事業者への依頼方法は、各おたっしや本舗で、地域の高齢者に関わる店舗等を訪問し、おたっしや本舗の活動紹介と見守りネットワーク事業の趣旨説明及び「高齢者見守りネットワーク事業登録承諾書」の提出を依頼し、承諾書の提出があった事業者を協力事業者として

登録します。登録をいただいた事業者には、「高齢者見守りネットワーク事業協力事業者登録証」と「ステッカー」を配布し、同意をいただいた事業者の事業者名を本市のホームページで公表します。

以上

第6回健康寿命をのばそう！アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)

(自治体部門 優良賞)受賞事例紹介

企業・団体・自治体等の名称	球磨村	
企業・団体・自治体等の詳細情報	所在地	熊本県球磨郡球磨村大字渡丙1730番地
	電話	0966-32-1112
	E-mail	k-matamoto@kuma.kumamoto.jp
	ホームページURL	http://www.kumamura.com/
キーワード	生きがいづくり、支え合い、介護予防サポーター、コミュニケーションの創出、集いの場、住民と行政の協働	
取組・事業の名称	球磨村 介護予防教室「ふれあいサロン」	
活動範囲	<input type="checkbox"/> 1. 複数の市区町村にまたがる広域 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 市区町村内の概ね全域 <input type="checkbox"/> 3. 中学校区単位 <input type="checkbox"/> 4. 小学校区単位 <input type="checkbox"/> 5. 自治会単位 具体的な範囲：球磨村全域	

取組・事業の概要

取組・事業の概要と特徴

ふれあいサロン事業は、参加者同士のコミュニケーションや生きがいづくりの場だけではなく、地域住民にとっても役割づくりの場であり、行政との情報交換の場となっている。

事業内容については、従事する職員を村が6名雇用(看護師2名・活動支援員4名)し、血圧測定、会場運営、調理指導、運動指導及び送迎等を行っている。また、利用中断者や病気等の要観察者に対しては、ふれあいサロン職員や保健師等が個別訪問し、状態の把握、介護サービス等への引継ぎ等を行っている。また、村内全域を定期的に訪問し、新規利用者の呼びかけを行っている。

昼食メニューは、村職員の管理栄養士(28年度末退職)が作成したレシピに基づき調理し、運動については、ふれあいサロン職員(各種運動有資格者)と住民ボランティアであるふれあい応援団が養成講座等で習得したものをを行う。村職員も健康運動指導士として運動指導のサポートをしている。

また、年1回教育委員会主催による「いきいき大学」として、音楽の先生に依頼し、合唱など音楽にふれる活動を行っている。

以上